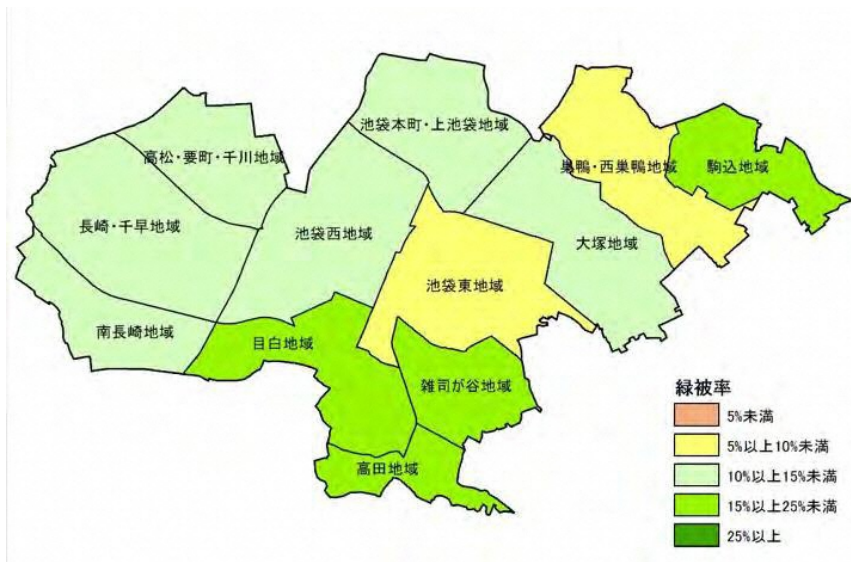


豊島区のみどりの現状

● 緑

- まとまった規模の緑：雑司ヶ谷霊園、染井霊園、学習院大学、立教大学
 - ・自然のままの環境を残すまとまったみどりは学習院の森が唯一
- 豊島区の緑被率：13.2%（令和元年度）・・・東京 23 区のうち 19 位
 - ・平成 21 年度～平成 27 年度において緑被率の変化はなし
 - ・平成 27 年度から令和元年度において、緑被地が 4.95ha 増加し、緑被率 0.38 ポイント上昇（増加要因：既存樹木の生長、街路樹整備、学校等の新設に伴う屋上緑化の増加など）
 - ・区の緑被地面積の割合：公共の緑が 50%、民有地の緑が 50%（令和元年度）



「地域別の緑被率」 資料：豊島区緑被現況調査報告書（R2.3）より

- 道路、鉄道沿いの緑
 - ・放射 26 号線および放射 77 号線（グリーン大通り）、アゼリア通り、補助 78 号線および放射 36 号線の緑（都心の豊かなみどりから護国寺を経て、雑司ヶ谷霊園や池袋副都心、立教大学を結ぶ）
 - ・都市計画道路の街路樹
 - ・谷端川緑道、駒込駅から江戸橋まで続く JR 山手線沿いや西巣鴨中学校周辺の桜並木
 - ・大塚駅から春日通りまでの都電沿いの緑化
- 河川の緑
 - ・神田川の桜並木（区内の水面は新宿との境を流れる神田川のみ）

○ 屋上緑化の緑

● 豊島区役所屋上庭園『豊島の森』



かつての豊島区の自然を再現した「豊島の森」を整備。豊島区の植生や生態など自然のしくみを学びながら憩える場

資料：豊島区 HP より

● サンシャインシティ専門店街アルパ屋上『サンシャイン広場』



高層ビルのもと、四季折々の花を眺めながらベンチでゆっくり寛げる広場



SEGES

資料：豊島区 HP より

● 西武池袋本店 9 階屋上『食と緑の空中庭園』



印象派絵画のような睡蓮の庭に季節の草花のある、食と四季を楽しむ、天空の庭園



SEGES

資料：豊島区 HP より

○ 学校の緑

● 学習院大学



● 立教大学



資料：豊島区みどりの基本計画改定版 H28 より

- 小中学校の屋上緑化：改築に合わせた屋上緑化などの整備「目白小学校」「西池袋中学校」
- 学校の緑縁空間：学校の塀を後退させて遊歩道を確保「西池袋中学校」「駒込小学校」
- 学校教育でのビオトープ：「目白小学校」

○ 住宅地の緑



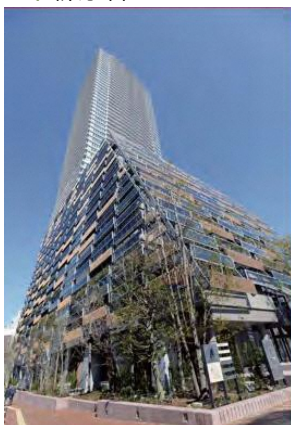
資料：豊島区緑被現況調査報告書（R2.3）より

○ 再開発地区の緑

● Hareza 池袋



● 新庁舎



● 大塚駅北口（2021 年予定）



資料：豊島区 HP より

●公園・緑地の特徴

○ 区立の公園・緑地： 166箇所（23.8ha） 一人当たり面積 0.82㎡/人

箇所数：公園 89 区民の森 2 児童遊園 63 仮児童遊園 9 その他 2 庭園 1

- 豊島区は、区民ひとりあたりの公園面積は 23 区中最下位だが、区の面積あたりの公園数は 23 区でもトップクラス



【図】公園等の現況配置図（豊島区都市公園等現況図 R3.1 より作成）

○ 特徴的な区立公園

● としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）



2020年に区内最大面積を持つ公園としてオープン。芝生広場やイチヨウ並木、カフェ、小型キャビン型店舗も出店。公園内で開催するファーマーズマーケットでは旬の野菜や果物を農家から直接買うことができ、生産者と消費者がつながる場となっている

資料：豊島区広報パンフレットより

● 南池袋公園



広々とした芝生広場が印象的な公園。区内駒込発祥のソメイヨシノや山桜をはじめとした約2,500本の草木を植栽。桜の下で階段状デッキ、園内カフェのある気持ちのいい空間

資料：豊島区広報パンフレットより

○ 区民の森

● 区民の森【池袋の森】



日本を代表する林学博士の住宅で、園内中央のユリノキは博士が研究用に外国から導入。樹木に囲まれた草地広場、井戸水池があり、ボランティアグループによる管理を行っている

資料：豊島区 HP より

● 区民の森【目白の森】



里山の雰囲気味わえる貴重な森として近隣住民の意向により緑地として保存。区内でも有数の大きさのシイノキやクスノキ、井戸、池がありボランティアグループにより野鳥観察を行っている

資料：豊島区 HP より

○ 庭園

● 目白庭園



目白の閑静な住宅街にある本格的日本庭園。数寄屋建築の『赤鳥庵』は各種会合に利用可能

資料：豊島区 HP より

○ 都立霊園（雑司ヶ谷霊園・染井霊園）

● 雑司ヶ谷霊園



雑木林のような自然に近い環境。文化人が眠る墓所があり散策に訪れる人も多い。ケヤキの古木、銀杏の高木も多数。面積 10ha

資料：2021 年撮影

● 染井霊園



都立霊園の中で最も規模が小さく、桜の古木が点在する。霊園の西側には本妙寺や慈眼寺、広大な岩崎家の墓所に隣接するため静かな地となっている。面積 7ha

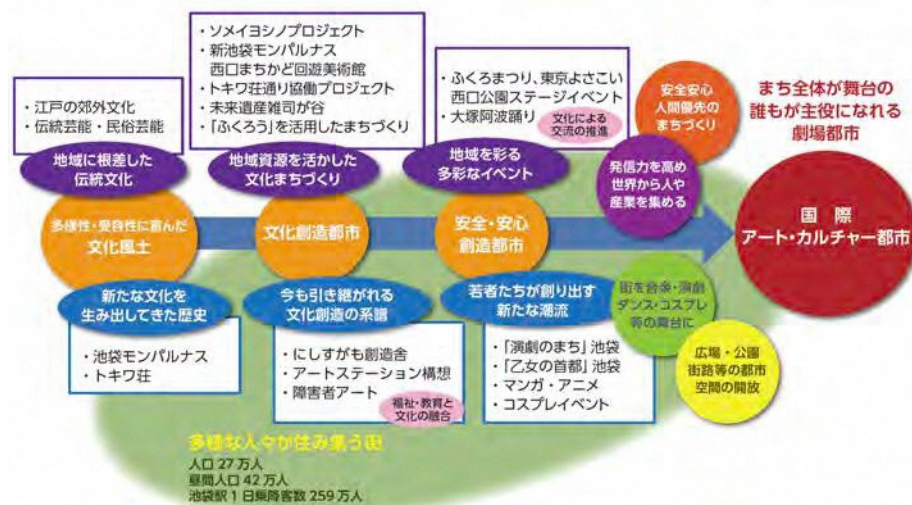
資料：2021 年撮影

●特徴的な事業



○『豊島区国際アート・カルチャー都市構想』

- 多様な文化資源を有する豊島区の強みを最大限に生かしながら、安全・安心な都市空間の中で、芸術・文化の魅力により人と産業を惹きつける好循環を創出し、“誰もが主役になれる”まちの実現をめざす「国際アート・カルチャー都市」



資料：豊島区 HP（豊島区国際アート・カルチャー都市構想）より

○ 東京初「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」ダブル選定

- 経済・社会・環境の3つの側面をつなぎ、さらなる相乗効果をもたらす自治体 SDGs モデル事業として、池袋駅周辺4公園を核としたまちづくり
- 個性ある4つの公園の連携とそれらをつなぐ電気バス「IKEBUS」により、池袋に新たな交流の場とにぎわいを創出
- 区内に点在する中小規模公園の地域特性に応じた活用



資料：豊島区広報パンフレットより

○ 『東アジア文化都市 2019 豊島』 記念事業 23 のまちづくりプロジェクト

- 令和元（2019）年に開催した日中韓の国家的文化交流事業「東アジア文化都市 2019 豊島」では特徴的な文化イベントを年間にわたり開催し、その記念事業として「100年に一度」の文化のまちづくりへの集中投資となる、23の事業を行っている

23のまちづくり記念事業



Hareza 池袋

としま区民センター（写真右）
2019年11月オープン

1

東京建物Brillia Hall
（芸術文化劇場）（写真中）
2019年11月オープン

2

オフィス棟
（Hareza Tower）（写真左）
2020年7月オープン

3



庁舎跡地周辺道路整備
2021年3月完成

4



寺町沿道道路整備
2020年10月
第一区間完成

5

4つの公園

※南池袋公園は2016年4月リニューアルオープン



池袋西口公園
（GLOBAL RING）
2019年11月オープン

6



中池袋公園
2019年10月オープン

7



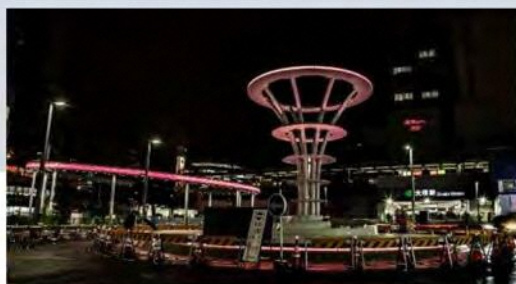
イケ・サンパーク
（としまどりの防災公園）
2020年12月オープン

8

大塚・巣鴨

大塚駅周辺整備（北口）
（ironowa hiro ba）
2021年3月駅前広場完成

9



巣鴨地蔵通り無電柱化
（Ⅰ工区）
2021年6月完成予定

10

池袋駅周辺



ウイロード
2019年11月完成

11



としまキッズパーク
2020年9月オープン

12



IKEBUS 2019年11月運行開始

13



池袋保健所仮庁舎
2019年10月完成
※2024年度に南池袋二丁目
C地区へ本移転予定

14



旧池袋保健所の活用
2023年春完成予定

15



グリーン大通りの再生
2020年7月
第二区間完成

16



ビックリガード上空デッキ
2020年3月完成

17

豊島区全域



アートトイレ
2019年11月完成

18



観光案内標識の整備
2020年3月完了

19



目白・ 椎名町周辺

トキワ荘
マンガミュージアム
2020年7月オープン

20



雑司が谷公園
2020年3月オープン

21



学習院橋の坂無電柱化
2020年3月完成

22



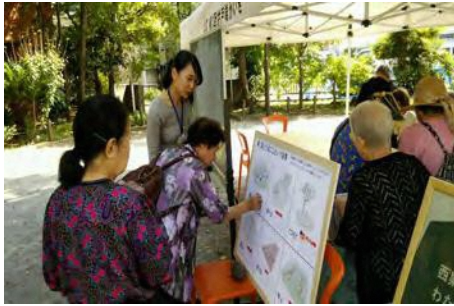
銀鈴の塔
2020年3月完成

23

資料：豊島区未来戦略推進プラン 2021 より

○ 『中小規模公園活用プロジェクト』（小さな公園活用プロジェクト）

- 公園を地域コミュニティの場として活用するプロジェクトを展開する



資料：豊島区 HP より

○ 『としまパブリックトイレプロジェクト』・『アートトイレプロジェクト』

- 豊島区には 133 ケ所の公衆トイレがあり、このうち 85 か所の公園トイレ・公衆トイレを H29 から 3 年計画で全面改修
- 従来のトイレは古い・暗いなど使いづらいという区民の声と、2020 年のオリンピック・パラリンピックでの国内外からの訪問者に配慮し、清潔で快適なトイレを提供
- 85 か所のトイレを改修するにあたり、24 か所のトイレを、個性豊かなアートトイレとして改修



資料：豊島区 HP より

○ 『子どもと女性にやさしいまちづくり』

- 豊島区は平成 26 年、日本創生会議から、若年女性の減少により人口を維持できない「消滅可能性都市」との指摘を受け、直ちに、持続発展都市に向けた重点対策の柱の一つとして、「女性にやさしいまちづくり」を掲げる
- 当事者である若年女性の声を反映させるため、「としま 100 人女子会」を経て、「としま F1 会議」を実施。子育てからワーク・ライフ・バランス、都市ブランディング、広報等、幅広い提案を受け、多くの事業を予算化。中小規模公園活用プロジェクト「ともに育つ公園。」などに展開している
- としま鬼子母神プロジェクト：雑司が谷鬼子母神に因み、出産前からの切れ目ない支援の仕組み、一人ひとりの女性のライフプラン形成を支援、誰もが安心して子どもを産み育てられる地域社会の実現を目指す

豊島区のみどりの取組

●主な事業

○「グリーンとしま」再生プロジェクト事業（H21～）

- 「いのちの森」「学校の森」：高密度都市豊島区をみどり豊かなまちにするため、区立小中学校・施設・公園などで植樹・育樹を実施【H30に10万本達成】
- 区民向けに苗木を配布
- 「緑のカーテン」づくり：区立小学校、区民ひろばでの地球温暖化防止に貢献できる機会としての環境教育【R2実績：4施設 約975㎡施工】

○「ソメイヨシノプロジェクト」（H12～）

- ソメイヨシノ植栽を希望する緑地に、染井吉野研究会で育成した苗木を提供する【苗木提供実績：区内67 区外150 学校42 計259】

○池袋西口駅前広場モザイカルチャー（H30～）

- 環境のシンボルとして設置した「モザイカルチャー」（立体的な園芸アート）の維持管理
- 地元の団体であるNPO 法人与維持管理協定を締結、協働で維持管理活動の継続

○グリーン大通りでの取組み（H30～R4 再整備）

- H28に国土交通省より国家戦略道路占用事業の適用区域と認定され、道路空間を利用した「国際劇場空間の創出（アートフェス）」、「コミュニケーションの創出（オープンカフェ）」、「賑わい創出（マルシェ）」などの事業が実施可能になり、様々なイベントを展開する
- 街路樹の保全と植栽帯のリニューアル、イベント時に配慮された整備により、来街者が集い憩える空間を創出

○学校（ビオトープ・緑縁空間など）

- 改築校（小学校）などでは、ビオトープの内容を児童に検討してもらい、それを設計に反映させ整備（目白小学校で実施済み）
- R4 竣工予定の池袋第一小学校において「森の中の学校」というコンセプトで周辺部分も含めた緑縁空間づくりをすすめている
- 芝生化された校庭を地域コミュニティの場として活用、芝刈りなどの維持管理などを行う

○ プレイパーク事業「自分の責任で自由に遊べる」あそび場

- 常設プレーパーク：池袋本町公園（運営管理：「NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク」）
- 出張プレーパーク：区立公園、保育園、子どもスキップ、区民ひろばなどで開催

○ 農縁公園プロジェクト（H30～）

- 「としまぐらし会議」から生まれた「農縁公園プロジェクト」は、遊休地を農園として活用し、まちの人々に土に触れあう機会・体験を提供し、地域コミュニティの場として再生することを目的とする
- としまぐらし会議プロジェクト「農縁公園チーム」が主体となり、地域住民による管理運営を行う

○ FF パートナシップ協定（H29～）

- 区と民間が連携し、女性や子育て世代・働く世代をメインターゲットとする様々な事業を行う
 - ・ 豊島区×良品計画「小規模公園再生プロジェクト」
 - ・ 豊島区×池袋ショッピングパーク「ISP ミュージックライブ」「ISP ほっとマップ」作成
 - ・ 豊島区×東武百貨店「TOBU de あそびシリーズ」
 - ・ 豊島区×サンシャインシティ「サンシャイン女子道」
 - ・ 豊島区×日本気象協会「サーモカメラで見る！打ち水効果の観測実験 in 南池袋公園」など

●みどりの基本計画

○ 「豊島区みどりの基本計画」（H23.3 H28.3 見直し）

- 都市緑地法に基づいて、区の特性と独自性を活かした緑地の保全と緑化の推進について定めたみどりの総合的な計画
 - ・ H4.11「豊島区みどりと広場の基本計画」策定
 - ↓
 - ＜H6 の都市緑地保全法改正による「緑の基本計画」制度の創設＞
 - ↓
 - ・ H13.3「豊島区みどりと広場の基本計画」策定
 - ↓
 - ・ H23.3「豊島区みどりの基本計画」策定、H28.3 見直し

●緑化指導

- 「豊島区みどりの条例」による指導・協議による緑化（H15.4 施行）
 - 豊島区みどりの条例緑化基準に該当する建築行為を行う際、敷地面積と建ぺい率により一定の面積を緑化する他、既存樹木の保全や道路沿いの緑化、屋上緑化などを行う
- 「豊島区みどりの条例」によるみどりの協定（H15.4 施行）
 - 範囲を定めて緑化についての協定を結んだ緑化活動団体に対して、協定を認定し支援【花壇協定箇所数 40 件（R3.9 現在）】

●みどりのボランティアや活動団体への支援

- 「南大塚バラロード」バラによる緑化事業　＜南大塚都電沿線協議会＞
 - 区民活動団体による都電大塚駅から向原駅間の都電沿線にあるバラ植栽のメンテナンスを実施【毎月 1 回】、バラの苗の販売やフォトコンテスト【春・秋 2 回】
 - 東京ふれあいロード・プログラム（東京都）に認定：活動に係る費用は原則参加者負担。清掃用具や花の種・苗の購入に係る費用の一部を都が支援
- 朝日ほのぼのランド事業
 - 第四コミュニティ広場を地域住民の奉仕活動により年間を通じてみどりの維持管理活動を行なっている。区民活動支援事業補助金を交付
- 豊島のみどりを守り豊かな街づくりのための活動　＜豊島みどりの会＞
 - 「住み続けたい街豊島」を目指し、公園など公共用地、屋敷林のみどりを区民の手で守り、増やす活動（緑の実態調査、観察会、工作会、樹木の名札付）を支援
- 巣鴨・庚申塚エリア活性化事業　＜巣鴨庚申塚まちづくりを考える会＞
 - 歴史的遺構が残る千川上水公園の再生及び巣鴨庚申塚周辺のまちづくり活動（さくらそうフェア、公園再生ワークショップ、まちづくり勉強会）を支援

●雨水の地下浸透の促進

- 公園などの新設、既存公園などの拡張・再整備にあたっては、雨水の地下浸透を可能な限り実施

●区民への情報提供

- 広報により区のみどりの取組を区民へ周知する



5月19日土・20日日、区役所本庁舎
3・4階の窓口業務は終日休業します
システムメンテナンス作業のため。自動交付機からの証
明書発行は可能です※詳細は区ホームページ参照。
困住民記録グループ ☎3981-4782

発行：豊島区 編集：政策経営部広報課
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 ☎3981-1111
ホームページ <http://www.city.toshima.lg.jp/>
平成30年(2018年)5月11日発行(毎月1・11・21日発行)



TOSHIMA CITY
2019年
「東アジア文化都市」
国内都市

みどりのまちづくり ～身近なみどりを育てましょう～

木々や草花は暮らしにうるおいや安らぎをもたらすだけでなく、騒音やヒートアイランド現象を緩和するなど、住みやすい環境にも役立っています。

区では快適で健康な都市生活のため、身近なみどりを育てるお手伝いをしています。

※各制度には限度額など一定要件あり。

困緑化推進グループ ☎3981-4940



◆みどりを育てる

- 民間施設の緑化…さまざまな場所で育てやすいつる植物や、「いのちの森」の苗木(在来種の樹木の苗木)を差し上げます。
- みどりの協定…区と緑化に関する協定を結んだ土地の所有者などに、資器材の支給や緑化の助言を行なっています。
- 公園花壇管理活動(公園等みどりの協定)…公園や児童遊園で花壇の維持管理をしていただけの団体に草花や肥料など資器材を支給します。
- ソメイヨシノの育成…駒込地域のソメイヨシノを接木し、育てています。希望者には育てた苗木を差し上げます(移植費用は希望者負担)。



◆緑化助成

- 保護樹木…貴重な緑を保護するため、一定の基準を満たした「樹木」「樹林」「生け垣」を所有者などの同意を得たうえで保護樹木などとして指定し、その維持管理に要する費用の一部を助成します。
- 接道緑化助成…道路脇に生垣や植込み、中高木を植栽する場合、工事費用の一部を助成します。
- 屋上・壁面緑化助成…建物の屋上や壁面を緑化する場合、工事費用の一部を助成します。

◆その他の緑化事業

- みどりの募金…森林再生や都市緑化による区の生活環境の安定向上のため、「緑の募金」運動に参加しています。
- みどりの基金…さまざまな団体などからいただいた寄付金を、区のみどりの保全および創出のために活用しています。
- 緑化指導…一定規模の建築行為の緑化計画書提出により、まちにみどりを誘導します。

3軒からできる緑豊かなまちづくり ～界わい緑化推進事業(助成制度)～

同じ通りに面する3軒以上の住宅や店舗が集まり、接道部分を緑化すると、工事費用の5分の3(上限30万円)を助成します。植栽計画や植えた後の手入れのための仲間集めなどを界わい緑化の専門家がアドバイスします。

困環境政策課事業グループ ☎3981-2771

資料：広報としま(2018.5)より